

会 議 録

会 議 名	藤井寺北幼稚園 住民説明会
日時・場所	平成 30 年 7 月 12 日 (木) 10:00～11:15 藤井寺北幼稚園 遊戯室
出 席 者	○総務部 資産活用課 片田課長、井口主幹 ○こども・健康部 こども政策課 武廣課長、浜平チーフ、山口主事 ○こども・健康部 保育幼稚園課 白江次長兼課長、大家課長代理、 柿原主幹、藤川主事 ○教育部 学校教育課 西村副理事兼課長、重尾課長代理
対 象 者	在園児保護者、あひる組保護者、周辺地域住民など 30 名 (当日受付。事前申込なし。)
説 明 内 容	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画について、在園児の保護者、現在あひる組の申込みをされている保護者、来年度あひる組を考えられている保護者、藤井寺北幼稚園近隣にお住いの住民の方々に対し、計画の要旨、事由、概要、今後の流れについての説明を行った。
資 料	○藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画についての保護者説明会 資料
要 録	
部会長	《藤井寺市立幼稚園・保育所のあり方検討部会 部会長挨拶》
事務局	《担当職員紹介》
事務局	資料説明 ：藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画についての概要 《質疑応答》
※	少人数で行き届いた保育をしてくれていることもあるので、一概に人数を多くするという理由だけで統合するのは違うのかなと思う。
学校教育課	少人数で行き届いた教育ができていることは分かっている。人数が増えることでいろいろな子どもたちと関わって自分の意見を言ったり、大勢の中で発言をする力をつけたりすることも必要だと考えている。
※	[記録音声不明瞭につき、要旨のみ記載] 支援が必要な子どもがいると思うが、増えた場合に個別の対応はしてもらえるのか。

学校教育課	個別に支援が必要な子どもについては、就学されてからの相談で、良いかたちがとれると思っている。
※	入園児数で見ると藤井寺幼稚園も藤井寺北幼稚園と同じぐらいだが、なぜ統合先が藤井寺幼稚園となったのか。
事務局	通園距離などのこともあるが、園舎で言うと、藤井寺幼稚園は遊戯室が新しく建て替えられた建物である。藤井寺市の幼稚園はどこもそうだが昭和 40 年から 50 年に建てられた古い建物となっている。近い将来、建物の更新を考えていかなければならないが、そういった意味で藤井寺幼稚園は一部新しい園舎となっているので、そのことを含めて総合的に判断した結果である。
※	来年、保護者が選択できるとあるが、藤井寺幼稚園に希望が多くなり、藤井寺北幼稚園希望者が少なくなった場合、全員が藤井寺幼稚園に行くことになってしまうのか。
事務局	入園受付の選択に関する質問ということで、もう少し詳しく説明をさせていただく。平成 33 年 4 月から統合の予定となっているので、平成 32 年に年少として藤井寺北幼稚園に申込みしてもらうことは可能。そうすると年長児に転園が発生してしまうことで通う園や友達構成も変わってくるので、平成 32 年から藤井寺幼稚園を選んでもらうことも可能。平成 32 年の 9 月から 10 月の幼稚園入園申込み時期に決めてもらうかたちを考えている。
※	藤井寺北幼稚園が例えば 1 人になった場合も、希望者はそこで保育をしてもらえるのか。
事務局	今、関係課とも話しているところであるが、1、2 人だけで保育というわけにもいかないの、年長との合同保育や統合先との交流を密にして保育の質を下げずに工夫をして保育を行いたいと考えている。
※	今の話だと、ふたを開けてみれば、1、2 人だったとなると、親としてはそんなはずではなかったという意見が出てくるはず。4 歳と 5 歳ではできることも違うし、一緒に保育することの良さもあると思うが、年齢に合った保育もある。願書を出して、入園希望の人数を見てから、やっぱり変更したいとなった際、変更できるような対応は取ってもらえるのか。
保育幼稚園課	今年も、来年もそうなるが、受付の人数を見て、例えば入園希望者が 1、2 人であった場合は、その保護者には速やかにお知らせさせてもらい、相談させてもらう。そこで、それでもこの園のままでという方には、もちろんそこで保育を行っていく。入園先を変更したいということであれば、臨機応変に対応させていただく。

<p>※</p>	<p>藤井寺市には道明寺こども園もあるが、今のところ保育所との一体化はないと考えて良いか。</p>
<p>事務局</p>	<p>保育所と幼稚園が一緒になった形の道明寺こども園が藤井寺市では幼保一体化施設としてあるが、当時は藤井寺市の全園を幼保一体化の施設にするという考え方もあったが、やはり幼稚園と保育所では生活のリズムが違うということもあり、道明寺こども園でも先生方と学識経験者の方が話し合い、工夫をして保育を行っているところである。そうした中で制度も変わってきており、子ども・子育て新制度が始まってから認定こども園が出てきたり、他市の事例で言うと、他の施設との複合化を図ったりなど、色々なやり方が出てきている。藤井寺市としてもう一度基本に立ち返って、公立幼稚園の果たしていく役割、どのような機能を担っていくのかを考えていきたいと思う。幼保一体化で言うと、全園を幼保一体化にしていく考えは白紙となっている。ただ、この先の結論については、学識経験者や現場の方を招いて、幼稚園、保育所を含めてどのような機能をどのように配置していくかを根本から考えていく段階である。</p>
<p>※</p>	<p>一時再編で預かり保育とあるが、今ある園で預かり保育や3年保育を行えば園児は増えるのではないか。そうすれば働いている方も預けられるので、待機児童も少なくなるのではないか。そういった取り組みを考えてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>我々の議論の中でも様々な意見があった。3歳児保育を実施し、私立から公立に来てほしいという意見もあれば、今回実施を予定している預かり保育については、働いている人はそうだが、在園児の保護者に聞いてみると、小学校の行事の関係で、午後3時以降も少しだけ預かってもらいたいという要望も聞く。そうすると今のやり方では対応ができないので、働いている保護者も在園児の保護者も利用しやすいようにと預かり保育を実施する予定である。そこで就園率向上を図っていきたく考えている。公立幼稚園で3歳児保育や給食などを行っていくには、市として非常に大きな決断となっていくので、施設の方向性を考えていく上で、公立幼稚園が私立並みのサービスを行い、お客さんに来てもらうという考え方も確かにあるが、一方で、行政としては公立と私立が協力していくという考え方もあるので、今あるすべての公立幼稚園で3歳児保育を行うと甚大な影響を与えてしまう。ただそれが悪いというわけではなく、その結論を出すにはもっと検討が必要であるということで、3歳児保育については今後、公立幼稚園の役割を考えていく上での検討というかたちにさせてもらっている。今後考えていく上で、今、障害をもつ子どもは、私立では受け入れてもらえない場合が多いので、その部分を重点的にしていくという考え方もある。もちろん、幼保一体化や認定こども園化等様々な選択肢から選んでいくことになるが、3歳児保育をしていくべきという結論が出れば、実施していくことになり、また実施しないという結論が出る場合もある。今のところはまだ何とも言えない状況であるが、藤井寺市としてはこのような考えである。</p>

<p>保育幼稚園課</p>	<p>預かり保育について補足すると、現在、道明寺こども園でのみ実施をしているが、夏休みや短縮期間も全て 17:00 まで実施している。こども園だからできる部分もあり、他の幼稚園でどの程度できるのかは今後の検討となるが、今のこども園と同じような内容でさせてもらうようには考えている。こども園で見ると、利用が多いのは小学校で行事がある日となる。また、幼稚園に預けていても全く仕事をしていない人は少なくなってきており、15:00 までのパートをされている人も多い。そのような方が、夏休みや特定の曜日に利用されることも多く見受けられる。このあたりで言うと第 1 保育所の一時預かりがあるが、夏休みの期間になると幼稚園の子どもの利用が多くなるという実態もあるので、まずは預かり保育を全園で実施したいと考えている。</p>
<p>※</p>	<p>私立幼稚園の利用者の推移は調べられているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この計画を立てるに当たり、私立の利用者数推移も調べた。基本的には大阪府の管轄となり、全てのデータがあるわけではないが、計画には過去 5 年の推移を載せさせてもらっており、藤井寺市から他市の私立幼稚園に行かれている方も含めてになるが、大体 400 人前後となっている。ややこしいところが、平成 27 年から認定こども園が始まっており、認定こども園での 1 号認定の数も含んでいるので、実際にどこまで推移が上がったり下がったりしているのかはつかみにくい。藤井寺市内の私立幼稚園である藤井寺カトリック幼稚園にも聞いたところ、あそこは 3 歳児も一部 2 歳児保育も行っておられるが、やはり年々入園者数は減少しているとのことである。子どもの数が減っているということもあるが、保育所の利用が多くなっていることから、フルタイムで働くとなると幼稚園のスタイルは難しくなっているのかなと思う。</p>
<p>※</p>	<p>藤井寺市の認定こども園は私立しかないと思うが、公立が認定こども園になる動きはないのか。国の政策的にも幼保一体化は認定こども園にしましょうという動きかと思うが。</p>
<p>事務局</p>	<p>国が進めている幼保連携型認定こども園という類型があるが、藤井寺市の就学前施設全てをその形態の方向でいくのか、道明寺こども園のように藤井寺市オリジナルの一体化の形でいくのか、幼保それぞれを存続させるのかは、有識者や現場の先生の意見を聞きながら、かなりの議論が必要であり、それについては後期計画までに時間をかけて決めたいと思っている。今の段階ではその方向性については決まっていない。</p>
<p>※</p>	<p>統廃合の時期だが、選択ではなく、平成 31 年に年長も年少も移動させるということはできなかったのか。実際に子どもを通わせている当事者ではないので、もしかしたら、やはりこの園で卒園させたいという考えの保護者の方もいらっしゃるかもしれないが。そのような考えもあり得るのか。</p>

<p>事務局</p>	<p>確かに考え方の一つに、強制的に統合先に移動という方法もある。しかし、保護者それぞれに都合や考え方もあると思う。あと1年でこのまま卒園をし、小学校に通わせたい方や、通園距離も伸びるといふこと等もあるので、現段階ではそのようなことは考えていない。ただ年少児については、年度途中で変わるといふことがあり、保護者の方も悩ましいところであると思うので、選択制にしたいと思う。年少児が少なくなってしまうらという意見もあるが、先ほど所管課からの説明でもあったように、保護者の方と相談をさせてもらい、臨機応変に丁寧な対応をさせてもらいたいと思っている。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>※ 公立幼稚園の良さを知っていて通わせているのに、急になくなってしまふことが悲しい。子どもたちは小学生との交流も楽しみにしている。ここは地域との関係も密になっており、つどうホールとも交流をしているが、それはなくなってしまうのか。また、子どもが、小学校の通学路を覚えるのにも役立っている。</p> <p>小学校との交流は、小学生にとつても幼稚園にとつても大切なものであると考えている。統合後の交流に関しては、回数や内容など、小学校と幼稚園の先生方に考えていただかなくてはならないが、このような大事なものを無くすことを考えていないので、話し合いながら今後も残していつてもらえるように働きかけていきたいと考えている。藤井寺幼稚園に通われている、北小学校と藤井寺小学校に通うことになる子どもたちについて、どのように移動してもらふかなど、先生方には、具体的な事を話し合いつてもらふことになる。</p> <p>※ 今のままで預かり保育をするなどできないのか。人数が少ないから統合すると聞いて、藤井寺市では公立幼稚園をなくし、私立を主流にしたいのかと感じた。公立の良さを残していきたいとおっしゃっていたが、藤井寺市の対応が遅いのでこのような現状になったと思う。現在、北幼稚園に通わせているがまだ何とかやっつけていけるだけの人数がいると思う。可能ならば、統合前に預かり保育などを導入し、園児を増やす方向で考えられないのかなと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>部会の中で推計を行っていたが、今年度の入園児数が急に減ったことが、今回の計画を急ぎで出した理由の一つである。減少のスピードがとても速くなってきており、市としてはもう予断を許さない状況だと判断したため、統合という形を取らせていただいている。統合にあたり、通園距離が伸びたり、小学校との連携が今までと全く同じ形では行えなくなつてしまつたりするかと思う。この中で、市としてできる事として、預かり保育やエアコンの導入などの環境改善を行つていく計画としている。</p> <p>※ こうなる前に人を呼び込める制度を作つたり、公立幼稚園のアピールはできなかったのかという質問であつたと思う。人数が減つてしまつているのは分かっている。私立はとても人数をとるが、一人一人との関わり合いが少ないという話を</p>

	<p>聞く。関わりをもって子どもは成長していくものだと思う。集団の良さもあると思うが、適度な人数で先生と子どもが関わり合えることはとても大事なことだと思う。集団を重視するのではなく、コミュニケーションを大切にすることが公立の良さであると思う。いきなり統合ではなく、保護者に公立を見ていただける制度は作れなかったのか。今からでも遅くないのであれば、統合を延ばしていただき、延長保育や3年保育などを実施していただけないか。考えを変えていただくことはできないのだろうか。</p>
<p>保育幼稚園課</p>	<p>PR 不足とのことだが、就園率向上と公立の良さを知っていただくことを目的として、きらりキッズを実施し、広報により周知も行っていった。</p> <p>※ 子どもを実際に幼稚園に連れてきたら、公立幼稚園の良さは分かるが、ニーズ的な制度の部分で何か考えられなかったのか。今のままでは公立幼稚園に行きたくても働いている人などは選べない状況にある。統合の前にもう少し市民の声を聞いて考えてほしかった。民間と競ってほしいというわけではない。公立幼稚園の良さを残したいとおっしゃるなら、もっと利用しやすい環境にできなかったのか。いきなり統合はないと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の統合で、内装の修繕や預かり保育での開園時間の延長を今後しっかりPRしていかなければと思っている。公立幼稚園の統合そのものについては今の段階で、やめるということは言えない。今までいただいた意見については、話し合い、市としての考え方をお示ししたいと考えている。</p> <p>※ 小学校と幼稚園が同じ場所にあることをもっと大事にしてほしい。幼稚園は小学校の予行演習のようなものだと思う。兄弟と共に通園し隣にいる安心感もある。つどうホールとの交流もしていただいている。ここの幼稚園は地域との関わりも多く持ってもらっているが、それを引き離し、無くしてしまうことが残念。地域の良さを奪わないでほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今まで幼稚園の取り組みを地域の方にも見てもらってきたが、就園児数につながっていないところを見ると、十分でなかった部分もあるかと思う。園の特色や良さは統合後もすべてが同じように続けていけるかは分からないが、出来るだけ残していきたいと思っている。</p> <p>※ 藤井寺北エリアは、園児数がまだまだ増える可能性がある。耐震については喫緊の課題であるが、児童数においては、この地域だけで言えば喫緊課題ではない。地域によって、長期的な計画を立てなければならぬのではないかと。藤井寺西幼稚園、南幼稚園、野中分園については、人数が一桁になってしまったので統合します、この流れで同じように藤井寺北幼稚園も藤井寺幼稚園に統合しますでは、あまりにも短絡的ではないか。ふじみ緑地に保育所ができることで、若い人が増え、幼稚園を考える人も増えると思う。藤井寺全体で就園児数が減るから4</p>

	<p>地域に1園にしますは簡単に考えすぎである。もっと地域ごとに見て、対応を考えるべきである。</p> <p>また、来年度藤井寺幼稚園か藤井寺北幼稚園かを選べるようにするとあるが、少なかった場合は保護者と相談と言っていたが、それは相談と言いながら無理やり行かせることになっているだけではないか。さらに、年長児だけの1学年になれば少人数となり、今幼稚園の少人数が問題と言われているのに、矛盾していることになる。藤井寺北幼稚園を将来的に残す選択肢もあるのではないか。</p> <p>事務局 部会の中で推移を見ながら議論をし、その内容をお示ししている。藤井寺北幼稚園については、平成33年度、統合予定というのが市の考え方である。</p> <p>※ [記録音声不明瞭につき、要旨のみ記載]</p> <p>先生のモチベーションが保育の質や良さなどにもつながると思う。単純に保育室が空いているから子どもを増やすという考えではなく、もっと細かい部分まで検討をしてほしい。実際に、現場に足を運んで計画を考えていたのか、現場の先生を一人でも交えて話し合われたのかが疑問。</p> <p>他の幼稚園で出た意見については議事録などで公開してもらえるのか。</p> <p>事務局 他の幼稚園でいただいた意見については、議事録を作成しており、近日中にHPで公開をする予定である。文字起こしに時間がかかるため、すぐに公開はできないがなるべく早くに公開したいと思っているので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【要点筆記】 以上</p>
--	--